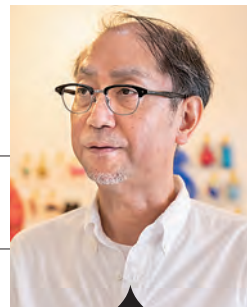


花火の街で咲く!“あきた おいしい花火”



和装はきもの・小物 加藤

〒014-0024 秋田県大仙市大曲中通町9-20 / TEL 0187-62-4391
営業時間10:30~18:30・水曜定休 / <http://www.wasokato.jp>

「ひとつずつ丁寧に作っています。気軽に手に取ってみて」と加藤さん

秋田がギュッとつまった 花火の街の新しいお土産



1個800円。中味を詰めるのも、タグやマスキングテープで彩るのも全て手作業

もっと気軽な花火の街の手土産に

加藤さんがこだわるのは、中味やユニークな仕掛けだけではない。“地元の人たちに喜んでほしい”という純然たる想いがある。

「外側に使用している花火玉は、地元の福祉施設でひとつひとつ手作業で作られているものです。これは球状の重い木型をベースに何層も紙を重ねて形を整えていく大変な作業。だからこそ機械で作られた量産品にはない“味”がでるし、この感覚を大事にしたい。花火をモチーフにすると県外のお客さま向けと思われるけれど、地元の人たちにも、もっと知ってもらいたいですね」。

今後は、季節によって中味を変えていく等、通年販売も視野に入れる。まちの新たな手土産として、咲き誇る日もきっと遠くはないだろう。

可愛くて美味しい花火がリニューアル!

花火の街・大仙市大曲の中心、花火通り商店街の一角に佇む「和装はきもの・小物 加藤」。店名の通り、元々下駄や草履を中心に扱う大正9年創業の老舗だが、数年前に移転した店内には、他にもユニークで可愛い雑貨が所狭しと並び、その中でも最近の注目商品が、小さな花火玉を使用した“あきた おいしい花火”だ。

「5年前から花火玉に地元の特産品やお菓子を入れて売り出しました。評判はよかったのですが1個600円では採算が合わず、価格も含めてリニューアルをしたいと思います」。

過去4年間、外装や中味等、全て自分だけの感覚で手掛けてきた加藤さんからセンターに相談があったのは今年の5月。デザイナーや特に重要な購買層である女性専門家と意見を交わし、次々とアイデアを具現化した。例年の悩みであった花火玉の中味も、センターの紹介で県の特産品である北限の桃を使用したハードゼリーを採用。約2ヶ月で販売までこぎつけた。

「今まで商品を主観でしか捉えていなかったのが、様々な視点から客観的な意見をもらったのが非常に参考になりました。中味はもちろん花火おみくじ等、新しい仕掛けを施すことで、価格の底上げもできています」。



ユニークな花火おみくじの文章は加藤さん考案

事業概要

産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言やデザイナーとのマッチング、コーディネートを行います。

お問い合わせ

知財・デザイン支援課
TEL.018-860-5614